

平成25年04月14日ラジオ番組内容

103. 『「臭い」が気になるマスク』

この季節、「臭い」が気になるマスク。臭いの発生源は？

花粉対策に、PM2.5対策に、とマスクをつけている人を多く見かけます。マスクを使用しているとなんとなく気になるのがマスクの臭い。

臭気計で人のマスクの臭いを計測

基準値として、1日履いた靴下の臭いが42、ニラは81、にんにくは104、納豆は263。

通行人の男女が使用していたマスクの臭いの平均値は80.1。

道行く人のマスクを借りると、ニンニク並みの臭いがついているマスクも。

口臭には病気が隠れている場合がある。

気になるときは病院で診察を受けましょう。

卵が腐ったような臭い

＝呼吸器疾患(肺癌など)、消化器疾患(食道癌、胃癌など)

リンゴが腐ったような臭い

＝糖尿病など

生ごみのような臭い

＝肝硬変、肝癌など

異臭、ともいえるような強い臭いがあったら、病院を受診した方が
いいですね。

一日着用したマスクには特に鼻やほほ、口の周辺部に汚れがついて
いる。汚れのものは、唾液や角質など。

雑菌とバクテリアが唾液や汗のタンパク質を分解し悪臭を出す。

マスクを「見た目が汚れていないから」と2~3日使い回すのは
ダメです。

原則 1 日 1 回、交換。

ウイルスや花粉対策に使う場合は、外出することに交換しましょう